

イ G 「機動戦士ガンダム SEED」

イージスガンダム

機体名	イージス	画像
型式番号	GAT-X303	
英語名	AEGIS	
所属	連合軍ザフト軍	
種別	高速強襲用試作 MS	
パイロット	アスラン・ザラ	
装甲材質		
装備	頭部 75 ミリ対空自動バルカン砲塔システム 「イーゲルシュテルン」× 260 ミリ高エネルギービームライフル× 1 ビームサーベル× 4580 ミリ複列位相エネルギー砲「スキュラ」× 1	
作品名	機動戦士ガンダム SEED	
参考書籍	G ジェネレーション SEED1/100 <u>イージスガンダム</u> キット解説書データコレクション ガンダム SEED 上巻 GUNDAM WAR 拡張シート 2 SEED EX-5	

内容

地球連合軍の高速強襲用 MS。

ザフト軍に奪取された G の 1 機。

本機の特徴は X300 系のフレームを持つ為に MA 形態に変形が可能となっている点である。

その為、宇宙空間での高速戦闘が可能で、一撃離脱を主とした高速戦を得意とする。

主装備である対艦用の 580mm 複列位相エネルギー砲「スキュラ」は絶大な威力であり、本機は火力・機動力の両面において非常に優れた性能を有していると言える。

また MA 形態時には、巨大なクローと加速力を活かした、一撃離脱の接近戦も得意とする。

もともと 5 機の G の指揮官機を想定して設計された機体である為、頭部センサーは他の G より大型で高性能なものが採用されている。

劇中ではストライクとの激戦の末、クローで動きを封じ、自爆攻撃によりストライクの撃破に成功するも、イージスは爆砕してしまった。

尚、「スキュラ」の名称はギリシャ神話に登場するモンスターの名前に由来し、「イージス」の名称はギリシャ神話に出てくる「盾」の事。

この名前がつけられた背景には、C.E. 以前の旧世紀に「イージス艦」と呼ばれた艦艇の存在が挙げられる。

この「イージス艦」は強力なレーダーにより敵機やミサイルをいち早く発見し、同時に高度な情報処理能力によって艦隊を指揮・統制する事で、艦隊を守る盾となる事からそう呼ばれた。

これが後年になり「部隊を指揮・統制する艦 = イージス艦」という概念として定着した。

X303 もまた、G シリーズの指揮をとる機体だった為、「イージス」と名付けられた。

■データコレクション ガンダム SEED 上巻

同時期に開発された他の4機とは構造が根本的に異なるX300系フレームを持ち、モビルスーツ形態からモビルアーマー形態への変形が可能な連合のGAT-Xシリーズ。

モビルアーマー形態ではその高推力を生かして目標をクローアームで補足し、腹部固定580ミリ複列位相エネルギー砲「スキュラ」の零距离射撃で殲滅するという強襲戦闘を得意とする。

本来は同時期に開発された他のGAT-Xシリーズの管制を担う機体であり、頭部には大型センサーが採用されている。

■ガンダムウォー

ザフト軍が奪取したガンダムの1機。

ニコルの死に激昂したアスランは、ストライクとの激戦の末、MA形態時の巨大なクローでその動きを封じ、自爆攻撃を行うことで相撃ちを果たしている。

備考

■ディアクティブモード

■ビームサーベル

ビームサーベルはストライク、デュエルのもとは異なり、腕部及び脚部の先端に内蔵されているのが特徴。

■自爆

自爆の暗証番号は「2887」。

■アスランの報告

まず、イージスという名称の付いたこの機体ですが、大きな特徴はその可変システムにあります。

GAT-X303。

他の4機と根本的に異なるフレーム構造により、モビルアーマーへと変形し、そのさいの主兵装は580mm複列位相エネルギー砲「スキュラ」。

これは他の機体も同様ですが、こちらでは未だ実戦投入されていない相転移装甲「フェイズシフト」を持ちます。

現在、機体のポテンシャルを最大限に引き出すようOSを直しておりますが、そのさいのスペックは機動性・パワーどちらもザフトの主力機ジンを上回るものと思われます。

スペック

項目	内容
全高	18.86m
頭頂高	
全長	
本体重量	
重量	79.6t
ジェネレーター出力	
スラスター推力	

センサ有効半径	
---------	--